

一小的校内研修(一人1授業)

国語科の学習

令和3年1月19日(火) 第2校時 1年3組

<単元名> すきなところを見つけよう 「たぬきの糸車」

<学習について>

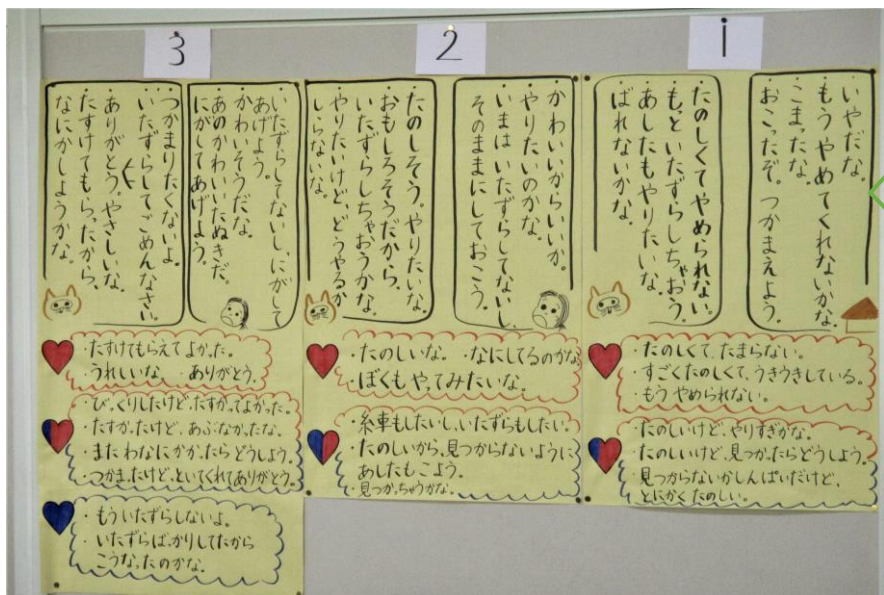
この単元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

場面の様子に着目して、登場人物の様子を具体的に想像することができる。

この学習は8時間予定で、本時は6時間目です。本時のねらいは次の通りです。

○叙述や挿絵をもとに、たぬきの行動から気持ちを想像することができる。

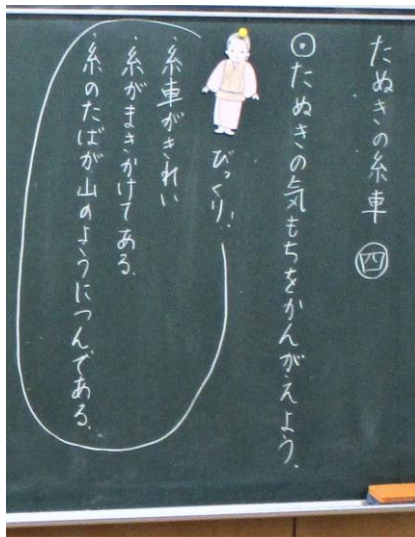
活動1 前時の学習をふり返り、本時の学習の見通しをもつ。



これまでの学習の足跡が掲示してあります。これを見て物語の場面の移り変わりを確かめます。

本時は、いたずらたぬきがおかみさんへの恩返しで糸を紡ぐ場面を学習します。

活動2 たぬきとおかみさんの行動を読み取り、場面の様子を想像する。



みんなで丁寧に音読をし、おかみさんの驚いた姿を手がかりに、たぬきがしたことをを見つけました。

活動3 たぬきの行動から気持ちの変化を考え、「気持ちグラフ」に色を塗る。



まず、一人一人の児童が、たぬきの気持ちをワークシートに書きました。

そして、気持ちグラフに色を塗り、その理由を考えました。

気持ちグラフの赤色は「前向きな、よい気持ち」、青色は「心配や不安な気持ち」を表します。この方法を使うと、一人一人の感じ方の違いを分かりやすく表現することができます。

活動4 お互いの「気持ちグラフ」を発表し合い、学習のまとめをする。



他の児童が想像したことや考えたことを知ると、自分の想像や考えが広がります。

友だちの発表を聞いて、色の塗り方を変える児童も見られました。